

# 安全保障技術研究推進制度の概要

- 防衛分野での将来における研究開発に資することを期待し、先進的な基礎研究を公募。
- 対象とする研究テーマを提示した上で研究課題を公募し、外部有識者による審査の上、採択する研究課題を決定（防衛省職員が研究内容に介入することはなく、研究の自由を担保）。
- 研究成果については、論文等の公表を制限することはせず、広く民生分野で活用されることも期待。



## 予算額

○ 2017年度	110億円
○ 2018年度	101億円
○ 2019年度	101億円
○ 2020年度	95億円
○ 2021年度	101億円
○ 2022年度	101億円
○ 2023年度	112億円
○ 2024年度	104億円
○ 2025年度	114億円※

※予算案

# 令和7年度からの制度改善\*1

- より応募しやすい制度となるよう、これまでの委託費に加え、補助金(タイプD)を新設し、研究者による主体的な活動を支援。
  - 委託費のタイプS、A、Cに準じ、どの規模でも応募可能。
  - 補助率は100%。
  - 「防衛装備庁からの研究の委託」ではなく、研究者が自発的に行う研究に対する補助という位置づけ。
  - 知的財産や資産は研究者に帰属。ただし、実施権を国及び国の指定する第三者に許諾していただく場合があります。
  - 資金は年度毎に交付。
- これまで、年度毎に契約を行っていた委託事業の小規模研究課題（タイプA, C）\*2を単年度契約から複数年度契約（最大3年）にします。
  - これにより、研究実施機関において複数年度の契約が可能になるため
    - 研究を単年度で区切る必要がなくなるため、より柔軟な研究の実施が可能に
    - 単年度契約では扱えなかった納入に時間がかかる大規模な装置や入手が困難な材料等の使用も可能に
    - この結果、小規模研究課題においても、より大きな成果を創出することが可能に

\*1 令和7年度予算案の成立を前提としています。

\*2 大規模研究課題は、新設時(平成29年度)から複数年度契約で運用しています。

# 令和7年度公募におけるタイプの概要

事業の区分	委託事業（複数年度契約可）			補助事業
区分	大規模研究課題	小規模研究課題		タイプD
タイプ	タイプS	タイプA	タイプC	
研究期間 (最大)	最大5か年度	最大3か年度		最大5か年度
最大研究費 (1件あたり) *1	20億円 / 5年	5,200万円 / 年	1,300万円 / 年	20億円 / 5年 (委託費のタイプS、A、Cに準じ、どの規模でも応募可能)
各タイプ の特徴	提案されたアイデア等を具現化し、その可能性と有用性を実証するところまでを旨とした基礎研究が対象。ただし、実用化に向けた実証までを求めているものではありません。	新規性、独創性又は革新性のある、研究テーマに合致した基礎研究が対象。	より一層、独創的なアイデアに基づいた基礎研究が対象。（準備状況は不問）	補助金により実施されるほかは、研究の期間・経費の規模に応じ、委託事業のタイプS・A・Cに準じます。
新規採択 予定数*3	9件程度*2	10件程度*2	15件程度*2	予算の範囲内で採択数を決定します。
	予算の範囲内で採択数を決定します。			
主な対象者	民間企業、研究機関*4、大学等			研究機関*4、大学等

\*1 1研究課題当たりの直接経費及び間接経費（直接経費の原則30%）の合計

\*2 審査状況によって変更する可能性があります。

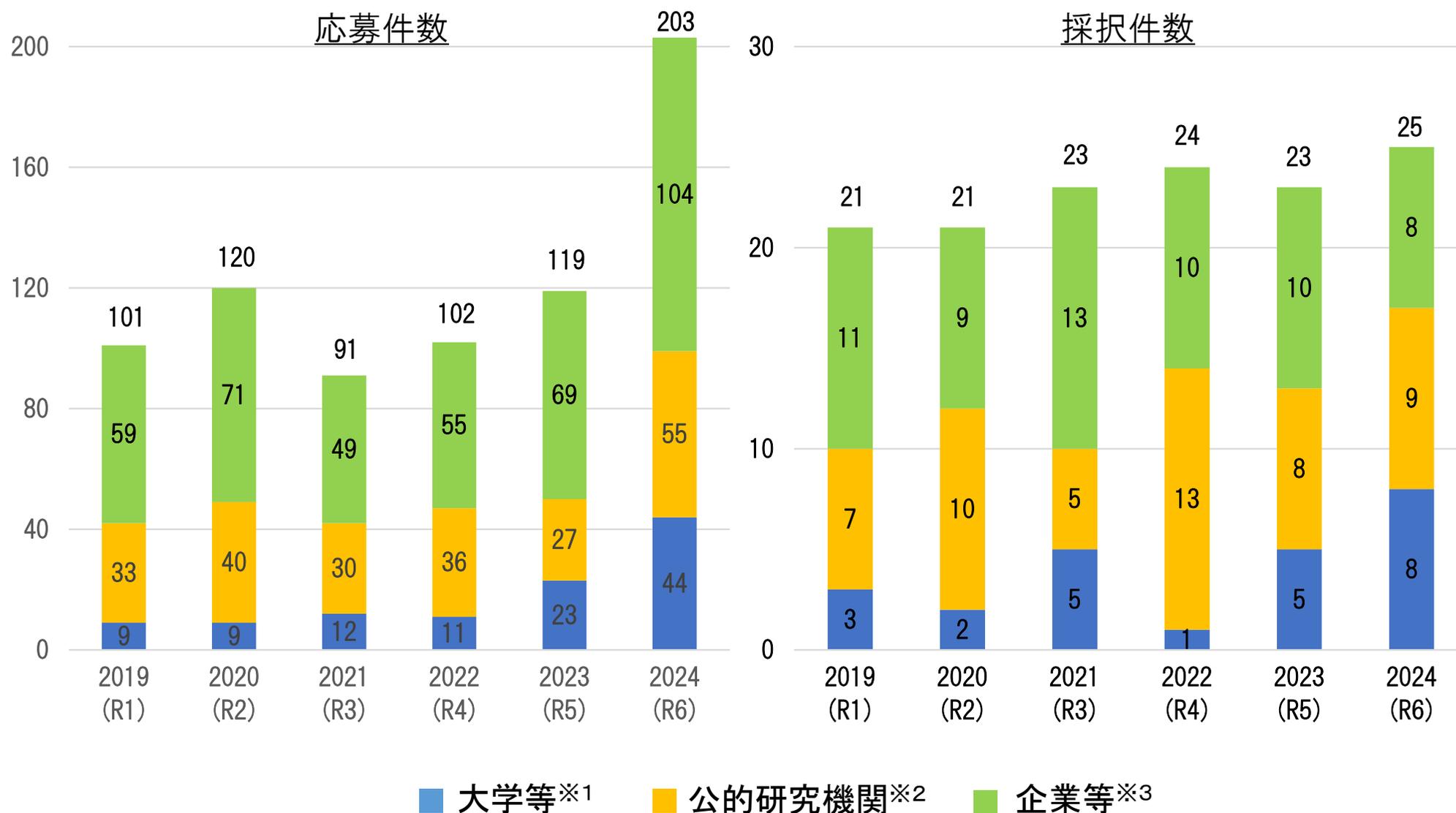
\*3 審査の過程において、委員会の判断により、応募者と実施内容、経費、研究期間等を調整の上、応募時とは異なるタイプの研究課題として採択する可能性があります。

\*4 研究を主な目的とする独立行政法人（国立研究開発法人を含む）、特殊法人、地方独立行政法人、公益社団法人、公益財団法人、一般社団法人及び一般財団法人

# 令和7年度公募に係る研究テーマ(委託・補助事業共通)

- 1 人工知能及びその活用に関する基礎研究
- 2 人間の能力拡張にもつながる脳情報科学に関する基礎研究
- 3 人間拡張・XR・レイグジシステムに関する基礎研究
- 4 複数無人機の操作や制御に関する基礎研究
- 5 コグニティブセキュリティに関する基礎研究
- 6 サイバーセキュリティに関する基礎研究
- 7 量子技術に関する基礎研究
- 8 光・電磁波領域における新たな知見に関する基礎研究
- 9 高出力レーザに関する基礎研究
- 10 エネルギーの創出・貯蔵技術等に関する基礎研究
- 11 高速・高出力デバイスの冷却技術に関する基礎研究
- 12 材料技術に関する基礎研究
- 13 センシング技術に関する基礎研究
- 14 CBRNE物質の検知、除去技術などのケミカル、バイオテクノロジーに関する基礎研究
- 15 外部のシステムに依存しない自立した測位・航法に関する基礎研究
- 16 高周波数・高出力デバイスに関する基礎研究
- 17 新規な演算デバイスに関する基礎研究
- 18 通信・ワイヤレス電力伝送に関する基礎研究
- 19 宇宙機等の推進・運動制御に関する基礎研究
- 20 極超音速技術に関する基礎研究
- 21 爆発反応や衝撃波に関する基礎研究
- 22 移動体の性能を大幅に向上させる基礎研究

# 応募・採択件数の推移



※1 : 「大学等」とは、大学、高等専門学校及び大学共同利用機関のことをいう。

※2 : 「公的研究機関」とは、独立行政法人(国立研究開発法人を含む)、特殊法人及び地方独立行政法人のことをいう。

※3 : 「企業等」とは、民間企業や研究を主な目的とする公益社団法人、公益財団法人、一般社団法人、一般財団法人のことをいう。